

令和 6 年能登半島地震において 災害処方箋により薬剤を交付された患者さんへ 研究協力をお願いについて

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の相談窓口へお問い合わせ下さい。ご連絡がない場合においては、ご了承をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、倫理審査委員会の審査を受け、研究責任者の所属機関の長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

2024 年 1 月 1 日～2024 年 3 月 31 日に災害処方箋により薬剤交付を受けられた方

2. 研究の概要

研究課題名	災害時の医薬品需要予測システムの開発
研究期間	承認日 年 月 日 ～ 2031 年 3 月 31 日
目標数	全例

令和 6 年元日に起きた能登半島地震において、直接死の数より災害関連死の数が多く、その要因として、慢性疾患を抱える高齢者が多く、医療機関の少ない地域である上、限られたアクセスルートの寸断等により、慢性疾患治療薬の供給が不十分で需給ギャップが生じたことが挙げられます。事前に、被災地の各個人に必要な医薬品、位置情報、医薬品流通ルート、需要量等が把握できていれば、災害時にどの地域のどの医薬品の需要が高まるか、需給ギャップを迅速かつ的確に予測し、速やかに医薬品を供給することで、災害関連死リスクを抑えられる可能性があります。

そこで、本研究では、災害処方箋から読み取った震災時の医薬品の処方パターンの実態を分析し、匿名化された電子版お薬手帳やレセプトの情報を組み合わせて災害時の医薬品の経時的な需要を予測できるモデルの構築に取り組みます。また、能登半島地震における医療機関の機能停止、患者の位置情報、道路の寸断情報等をモデルに組み込み、より精緻に経時的な医薬品供給状況のシミュレーションを行います。本研究で確立する需要予測モデルは、発災直後に、いつ、どこで、誰が、どの薬を求めているかをシミュレーションすることで、迅速な供給が可能となり、災害関連死を最小限に抑えることができると考えられます。

3. 研究の目的・方法について

この研究では地震をはじめとする自然災害時における医薬品の需要予測を行うことを目的としています。令和 6 年能登半島地震において災害処方箋により薬剤交付を受けた患者さんの処方箋データを使い、必要なデータを取りまとめ、震災時の医薬品の処方パターンの実態を把握するとともに、発災時の需要予測モデルの確立を行います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

災害処方箋を資料とし、以下の情報を使用します。

年齢、性別、交付年月日、調剤年月日、救護所の名称・所在地、医療機関の名称、薬効分類、処方情報（薬剤名、規格、剤形、数量、日数、用法・用量）、備考欄の記載内容

5. 外部への試料・情報の提供・公表

提供された情報は、外部へ提供することはありません。

6. プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合、提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

7. 研究組織

研究代表者 金沢大学附属病院 教授・薬剤部長 崔 吉道

（1）金沢大学における研究実施体制

研究責任者	附属病院 教授・薬剤部長	崔 吉道
研究分担者	附属病院 准教授・薬剤部副部長	石本 尚大
	附属病院薬剤部 副薬剤部長	川上 貴裕
	医薬保健学域薬学類	小林 大智
	融合学域融合科学系 教授	藤生 慎
	融合学域融合科学系 助教	森崎 裕磨

（2）共同研究機関と研究責任者

研究機関	研究責任者	役割
公益社団法人石川県薬剤師会	会長 中森 慶滋	解析データの解釈・助言
石川県病院薬剤師会	会長 森戸 敏志	解析データの解釈・助言

（3）既存試料・情報の提供のみを行う機関

機関名	石川県
情報の管理責任者氏名	塗師 亜紀子
担当者氏名	塗師 亜紀子
住所	〒920-8580 石川県金沢市鞍月 1 丁目 1 番地
電話番号	076-225-1111
提供される項目	災害処方箋の提供

8. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究は、附属病院薬剤部寄付金および研究助成（課題番号：25K18673 課題名：電子版お薬手帳を活用した災害時医薬品ニーズ予測モデルの構築）を得て実施するものです。この研究の研究担当者は、金沢大学または各研究機関の規定に基づく利益相反審査機関へ自己申告し、その審査と承認を得ています。従って、この研究の研究担当者は、この研究の実施の際に個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切いたしません。また、学会発表は論文の公表にあたっては、資金について公表し研究の透明化を図ります。

9. 研究への不参加の自由について

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の問い合わせ先までお申出ください。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

10. 研究に関する窓口

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

研究責任者	附属病院 教授・薬剤部長	崔 吉道
相談窓口担当者	附属病院薬剤部 副薬剤部長	川上 貴裕
住所	〒920-8641 金沢市宝町 13 番 1 号	
電話	076-265-2047	